

# 生活と結びつけた素材の開発「ペットボトル噴水」

佐賀市 北川副小学校 松浦健太

## 1 素材の紹介

500mlのペットボトルとストロー、油粘土という小学校でかなりそろえやすい材料を用いてペットボトル噴水を簡単に、さらに短時間で作成できます。



用意するもの  
ペットボトル (500ml)  
油粘土 (少々)  
曲がるストロー (2本)



油粘土は、球状に丸めておきます



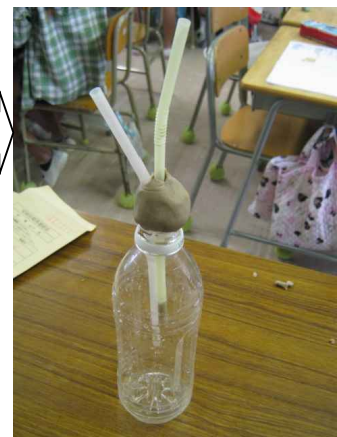
ストローを油粘土の中につきさします



ストローをつきさすと、ストローの中に粘土がたまってしまいますので、ストローを指でつまんで押し出します



同じようにもう一本のストローも粘土の中につきさします



あとは、ペットボトルの中に水を入れて、口の部分を粘土でふさげば完成です！



片方のストローに息を吹き込むと反対のストローから水がピューと出てきます☆

## 2 関連する学年と単元

4年「とじこめた空気や水をおしてみよう」(「空気や水を使ったおもちゃを作ろう」というページでペットボトルを使った噴水が紹介されているが、用意する道具をそろえるのも実際に作るのも大変手間がかかる)

## 3 素材について

ペットボトルやストローは家の中を探せばすぐにでも手に入ります。また、油粘土は1,2年生の頃に使っていた物をもっている児童がほとんどのはず。(少ししか使わないので他の人に借りてもよい)何より、誰でもどこでも簡単に作ることができます。ストロー一本で行えば、給食のときに出てくる牛乳パックをブクブクさせたときの牛乳の逆噴射も再現できます。空気によって水が押し出される様子が目に見える実験で、ストローを水につけないと水が押し出されないことや水の中に吹き込んだ空気がペットボトルの上部に上がっていき水を押し出す様子が良く分かります。